

- ・ 巻頭コラム (杉浦良)
- ・ 太陽と緑の会国府作業所新築、其他工事記録帳 (木内昭)
- ・ できごといろいろ (鮎喰川クリーンアップ、通常総会、体験実習他)
- ・ ご支援下さった皆様 / 編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

# かわら版

2006年9月 115号

巻頭コラム

杉浦 良

9月になって太陽と緑の会リサイクル作業所メンバーの米田さんが徳島新聞、毎日新聞、朝日新聞などからの取材を受けました。有難いことです。彼が書いた詩集『心素(しんす)』が注目されたということもありますが、詩集片手に訪問販売する彼の後姿に、各記者の方が何かを感じたというのが本当のところでしょうか……。火事で全てを失い、ゼロからの復活でお世話になった方々に、復興までの1年2ヶ月の彼自身の心に映る風景を詩に凝縮してみないか？という誘いにうまく乗ってくれました。テレワーカーズさんから頂いたパソコンに、他のメンバーが入力し、スタッフが編集と印刷をして、メンバー達が製本するという

共同作業で完成したのが詩集『太陽』と『心素』です。『太陽』には全焼した建物の写真と、米田さんたちメンバーが3日間自宅待機を余儀なくされた時に、その悔しさ、悲しさ、喪失感を、行間にありったけ埋め込んだものです。『心素』は、全国からのご支援を頂くことで復活することができた新しい建物の写真と、後片付けから、新たに建物が再建される過程を日々眺めながら、彼自身が感じた思いを言葉化しました。支えて下さった方々にお渡しするとともに、1冊200円で店頭販売することになりました。100円は米田さんへの著作権料、残りの100円のうち実費を差し引いた額がメンバーへの工賃となります。午前中は目一杯、古紙



新館での作業 (電話の対応、リユース品の陳列準備)

(ダンボール、新聞、雑誌)の積み込みや、家具の整理、中間処理場行きの積み込み等をした後、午後にリュックに詩集を詰め込んで売り歩くというのが、最近の彼の作業スタイルです。午後にフラフラと出歩く彼を見て、心配して連絡を下さる方もおられますが、訳を話すとなるほどと納得されます。「それって、訪問販売やなあ・・・！昔、押し売りと呼んでたやつや・・・！」「ひげ面で1本前歯の欠けた風貌して、詩集買ってくれますか？は、少々危ない人と間違われる恐れもあるし・・・。身分証明書を作ったらどうだろうか？・・・。」「お金頂いたら、領収書をきちんと発行せんといかんと違う・・・？ネコババの疑いもあるかもしれんし・・・。」「お金がなくなると、売り歩くのと違う・・・？」みんなが、寄ってたかって言いたい放題の会話を交わすなか「いい加減にせえ！」と一喝して、一人くびすを返して販売に精出す、彼の後姿があります。訪問販売というと何か嫌な雰囲気は漂う今日この頃、昔はおばちゃんが魚や乾物を入れたカゴを背負ったり、リヤカーの後ろに野菜や花を積んで売り歩く姿があたり前でした。それと

どこが違う、というだけでなく、皆さんに「おかげさまで復活することができました。有難う御座いました」というメッセージを込めて手渡しする意味と、共同作業で作った詩集をメンバーたちのためにも売り歩くという行動と、世間がどう自分達のことを見ているのかというリアリティーを感じるためにも、必要な行為に思えてなり

ません。一瞬のうちに全てが失われたその時に、詩集『太陽』で「フレーフレー人生(勇者)」と歌い上げます。皆さんのお陰で再建した後、全てが新しい作業形態になり、掃除のやり方ひとつ、物を運ぶ運び方ひとつ、並べ方、値段の付け方など全ての作業ひとつひとつが新しくなり、慣れない日々が続きました。1年2ヶ月間、一般市民の方々から頂いた不用品のうち選りすぐりの物を、月の宮作業所や生活棟の空きスペースに保管し、それを再度搬入しては再度選別洗浄磨くといった作業や、奥の倉庫からの引越しなど、ハードワークが重なりました。そんな時「夢創れますか」と、詩集『心素』から朗読する彼がいました。「・・・心掛けるのは『全力で生きる』。脳性まひによる言語障害や上肢の障害を持ち、過去には荒れたこともあるが、逃げることなく、自分に向き合ってきた。『光は血眼になって捜せば、きっとある。自分らしい生き方があると叫び続けたい』。・・・詩集には、その気持ちが詰まっている。」そう毎日新聞の植松さんに書かせた、米田太さん三十一歳です。



新館売場

## 太陽と緑の会国府作業所新築、 其他工事記録帳

木内 昭

平成十八年四月一日。太陽と緑の会国府作業所復活大作戦と銘打った、工事が実質的に完了しました。あれこれ事情があつて思い掛けぬ様な月日経って、皆様方に御不便をおかけした事、本当に申し訳なく思っています。

①障害になった事は先づ火災の調査作業（約四十日及びました） ②新築計画で図面の状況であった時建物のスパン7Mを9Mに変更した事に依る図面の修正、此の図面が鉄工所へ渡してあった分と差替えた事に依る、③鉄工の作業工程の変更で、別に受注している仕事を私共より発注した仕事より小さいのでそれを優先的にやって仕舞いたいと、云い出した。それでは困ると申出たが、鉄工は応ぜず、止むを得ず、出来るだけ早く終わって、私共の方にかかって呉れるよう、資材はすぐ揃えて呉れる様にと申入れて、前途金も支払って必ず間に合わせる様にと約束した。私共は西側に焼残った、鉄骨造二階建の倉庫の改修、間仕切、内壁、外壁等一切をリフォームする様に仕事を進めた。足場も本格的なものを組立てて本館建設の際に再利用出来る様にした。1ヶ月半頃には殆ど完成し、床コンクリートも新しく打設した。入口には新品の軽便シャッターを付けた。鉄工より加工組立されたものが現場へ到着したのは一と月半おくれて到着した。約束はこの程度で果された。

平成十七年二月二十七日、忘れられぬあの日国府作業所は、まだ夜の明けきれぬ午前五時前、一階玄関附近より出火し、一時間足らずで中央本館部は焼失し

ました。

この日の朝、私は月の宮の杉浦さん宅の工事用の仮設資材が入用であったので、前日夕方に私宅倉庫で軽トラックに積込んであった。夜明けを待って杉浦さんの処へ行きそれぞれの場所へ配置した処、杉浦さんの奥さんが出て来られて今朝早く国府作業所の建物が全焼したと話し出された。杉浦さん本人は既に車で駆けつけているとの事寝耳に水とはこんな時の事ですね…。

国府作業所は昨年未より、バリアフリートイレ新設、本館階段廻り壁の化粧板張り、天井PB張りへのリフォームも出来たばかりであったので現地へ着くまであれこれ想像しながら走行したがもう一つ判からぬ、状況も見えて来ない。さて現地に着いたが、新聞社、消防、警察の車十四五台程が駐車して居る 作業をしている人数も大変なもの、スコップを使っている人も見える。軽トラックは堤防の近くへ無断で停車させる。既に立入禁止の巾広のテープが現場を取巻き中である。大勢の人々の中より杉浦さんに会いお見舞いを云う事が出来た。

（以下、次号に続く）

元木内工務店社長の木内昭さんは、太陽と緑の会月の宮共同生活棟の元オーナーで、建築・設備整備の面等、15年以上に渡り当会の活動を支えて下さっています。火災で焼失した太陽と緑の会事務局・店舗兼作業所の建物の再建は、木内さんのお力なくしては実現できませんでした。

火災から再建に至るまでの経緯について、木内さんからお寄せ頂きました。建物が再建して5ヶ月、木内さんのナビゲートのもと、4回に渡る連載により、激動の1年2ヶ月をたどってみたいと思います。

# お知らせ

## 鮎喰川クリーンアップ 2006

5月30日午前9時30分～午後12時30分、とくしま環境県民会議主催「ごみゼロの日キャンペーン」の一環として、環境美化、不法投棄の防止を目的とする、鮎喰川河川敷（中鮎喰橋西詰下及び堤防道路沿い 徳島市国府町南岩延）の一斉クリーンアップを行いました。

太陽と緑の会スタッフ、メンバー、ボランティア、計20名が参加、収集したゴミは2トンダンプ1車分の不燃ごみ、可燃ごみ、空き缶・鉄くずでした。

また刈り払い機4台を使い、総延長2キロメートルに渡る草刈も行いました。

一斉クリーンアップは今年で6回目となります。今年は徳島県の方でも不法投棄防止のための簡易防御柵を設置して下さいました。

5年前、中鮎喰橋下の河川敷は不法投棄された家具、電化製品（特に家電リサイクル法の対象となっている冷蔵庫、洗濯機、テレビ、エアコン）、自動車、燃え残ったタイヤなどのゴミで埋め尽くされていましたが、行政の方のご協力もあって今はすっかりきれいになりました。継続することの大切さを改めて思います。

## 太陽と緑の会通常総会開催

6月17日午後6時40分より午後9時50分まで、太陽と緑の会事務局にて第7回太陽と緑の会通常総会を開催しました。出席者15名、委任状提出者20名、定款の規定により総会は成立しました。

今回の総会は、昨年2月27日に火災により事務局建物が全焼してから、今年4月24日に再建するまでの一連の復興活動の総決算として大変重要な総会となり、平成17年度事業報告及び収支決算報告の説明、質疑応答及び承認を行いました。出席者からは新店舗の設備改善やご意見箱の設置、名刺サイズのパンフレット作成、メディアやインターネットの活用など、様々な提案が出ました。

## ご寄付頂きました

7月24日、徳島北ロータリークラブ様主催で6月18日に開催された、藤川尚美ソプラノコンサートによる義援金21万8974円をご寄付頂きました。贈呈式がとり行われ、当会代表の杉浦が出席致しました。徳島北ロータリークラブ様をはじめ、関係者の皆様方、本当に有難うございました。大切に活用させていただきます。



絵 走川さん



絵 田中さん



絵 大木さん

## NPOインターン現場体験

7月8日、NPOインターン「初めてのボランティア体験」(徳島市市民活力開発センター主催)の現場体験受入。中野さん、小澤さんが、不用品の回収やリユース品の包装など当会のリサイクル活動を体験、むし暑い中、山のような品物の整理を手伝って頂きました。

感想をお聞きすると「今日一日だから何とかやれたが、これが毎日続くとなるとかなり大変だと思いました」という言葉が返ってきました。センター職員の寺澤さんも参加、NPOが自前で運営費を捻出していくこと的一端を感じて頂けたのではないかと思います。

## 地元中学生体験実習

9月4日、5日の2日間に渡り、午前9時から午後3時まで、国府中学校3年生の新宅さん、多田さん、毛利さん、仁木さん、安丸さん、鴻池美香さん、鴻池祐香さん、鴻池春香さんの8名が、当会にて体験実習。当会の様々なハンディを持ったメンバーとともに、不用品の回収・選別、持ち込みの受付、リユース品



新館売場

の品出し、古紙の積み込み・搬入など、不用品のリユース・リサイクル事業を体験して頂きました。

これは同中学校が地域体験学習として行っているもので、当会は平成14年から毎年実習生を受け入れてきました。今回はこれまでで最も多い人数の受入となりましたが、皆さん積極的に作業に取り組んで頂き、こちらのメンバーにとってもよい刺激となりました。未来を担う地元の学生さんが当会のメンバーとともに働くということは、大変意義深いことだと思います。皆さん、お疲れ様でした。

## 見学・実習

6月8日 精神障害者生活訓練施設(援護寮)すくも寮から職員2名及び当事者の方11名が当会リサイクル作業所及び月の宮作業所の見学。

6月9日 城西病院グループホームより当事者の方1名及び職員1名が当会リサイクル作業所を見学。

6月12日 国府養護学校実習打ち合わせ  
6月13日~16日 国府養護学校高等部3年生の宇津君が当会リサイクル作業所にて職場実習を実施。トラックで各家庭を回る不用品回収作業、リユース品の磨き作業などを体験しました。

6月26日 精神障害者生活訓練施設ウィスパークより当事者の方2名、職員2名が当会リサイクル作業所を見学。

7月10日 鳴門市手をつなぐ育成会から10名の方が当会リサイクル作業所見学。

7月21日 国府中学校職場体験実習打ち合わせ 同中学生8名が来所

8月4日 北島町より、山田昌弘北島町長をはじめ、生活産業課人見課長他、計5名の方が来所、当会の不用品・資源ゴミのリユース・リサイクルのシステムについて見学されました。町長自らお越し下さっただけでも驚きでしたが、大変熱心に質問される姿が印象に残りました。

## 会議・講演

4月27日 徳島市市民活力開発センターにてNPOカフェが開催。市内のNPO、ボランティア団体で活動する市民、及び徳島市職員が参加し、意見交換を行いました。当会事務局長の小山が出席。

5月10日 食品衛生責任者養成講習会を当会理事の櫛田が受講。

5月13日 NPO法人徳島県ボランティア協議会の総会に代表杉浦が出席。

5月19日 浄化槽教室（徳島保健所）に当会理事の櫛田が出席。

5月20日 NPO法人TICOの総会に当会代表理事の杉浦が出席。

5月25日 とくしま環境県民会議クリーンリサイクル推進部会に杉浦出席。

5月27日 第6回街角の精神保健福祉を考える集い（社会福祉法人ハートランド主催）に杉浦がパネリストとして出席。

6月1日 とくしま環境県民会議総会に当会代表杉浦が出席。

6月3日 第10回徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会総会開催。当会代表の杉浦が出席。徳島県障害福祉課、健康増進課からアドバイザーをお招きし、「作業所と小規模法人の行方」をテーマにシンポジウムも行いました。徳島県下の障害者地域共同作業所及び小規模通所授産施設47箇所のうち35箇所が出席。

平成10年に発足した同連絡協議会は徳島県下の3障害の作業所及び小規模通所授産施設が参加していますが、これは全国的にも大変珍しいことです。

6月5日 当会代表杉浦がひまわり家族会研修会にて講演（吉野川市保健所）。

6月29日 リデュース・リユース販売システム検討委員会（徳島県）に、当会代表杉浦が出席。

7月6日 徳島県精神障害者家族会連合会総会に、当会代表理事杉浦が出席。障害者自立支援法の施行に関連し、NPO法人制度の事務手続き、会計などについてお話させて頂きました。

## 建物再建関係

5月6日～7日 作業倉庫前屋外販売スペース用テント設置

8月2日 作業倉庫前のアスファルト舗装を行いました。

建物再建の一環としての浄化槽工事に伴うアスファルト舗装では、予算の都合により敷地の3分の2だけ舗装致しました。建物関係の追加工事も終わり、何とか資金を捻出することができたため、思い切って残りの3分の1の舗装を行うことにしました。作業倉庫から新館への商品移動も台車やリヤカーを使ってスムーズにできるようになり、作業効率も大幅に上がりました。有難うございました。

## 報道関係

3月29日 フォーカス徳島530（四国放送）にて、太陽と緑の会の新館オープン直前の状況について放映。

4月24日、25日 四国放送、NHKのニュース番組にて、太陽と緑の会新館オープンの様子を放映。

5月28日 徳島市広報番組マイシティとくしま（四国放送）（CATV）にて新館オープン後の現状について放映。



掘り出し物コーナー（お買い得商品がたくさん）

下記のタウン情報誌にて当会が紹介されました。

フリーペーパーさらら3月2日号  
あわわ6月号  
月間タウン情報トクシマ6月号  
050 ゼロ・ゴ・ゼロ6月号  
ワイヤーママ徳島版7月号

## 詩のボクシング徳島大会で準優勝

第4回詩のボクシング徳島大会（県立文学書道館（徳島市）にて開催）に太陽と緑の会リサイクル作業所メンバーの米田太さんが初めて参加しました。5月21日に開催された予選（参加者26名）を通過し、6月18日の本大会では16人によるトーナメントを決勝まで勝ち抜き、見事準優勝となりました。

米田さんはこれまでに、詩集「心実」「元太」「芯太」「太陽」「心素」、朗読CD「翔元」を出してきましたが、こうした取り組みを、徳島新聞（9月5日付朝刊）、毎日新聞（徳島版）（9月5日及び6日付朝刊）にて取り上げて頂きました。

詩集はいずれも1冊200円、太陽と緑の会事務局で販売しています。

## できごといろいろ

5月28日 毎月第2・第4日曜日実施の本の特売セール開始。

6月27日 徳島西消防署より2名をお招きし、太陽と緑の会の防災訓練を実施。

7月15日 新館前で、昔ながらのカキ氷の実演販売を実施。

8月1日 月の宮共同生活棟にて、共同生活メンバー名田さんと富開くんのご先祖様のお盆の法要。2人とも共同生活を始めたときからお仏壇を持っていました。今年も地藏寺の服部さんをお願い致しました。

どんなときも

どんなときも

仕事はやりたいよ

たとえ心が痛くても

たとえ心が折れそうでも

自分らしく生きたいよ

ありのままに生きたいよ

それができたらいいのに

全力でなにかやりとげたいよ

自分の証 自分への勲章

なにがあっても

たとえ何があっても

自分の足で立ちたいよ

(米田 太)



絵 田村正子さん

絵 辻井さん

# 当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2006年5月12日～6月30日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

## ご寄付下さった皆様方

○徳島県○笠谷、南戎子野町内会ほほえみ会(宮本)、川瀬、荒川、成瀬、西条、正木修介、山根 靖治、山田 弘、田中 シズ子、三辻 博良、佐賀 武、千田 眞史、坂口 一之、尾田 稔、縄手 正一、川野 章、島田 修司、後藤 正和、森本 考央、南明 良作、成瀬、小畑 安子、大塚 菜穂子、西野 洋子、巻島 町子、三好 敏

## 不用品を回収させて頂いた方々

○徳島市○小倉、吉岡、松原、豊田内科、浜口、古田、藤井、小川、高田、林、藤本、奥田、中村、木村、井口、金丸、立石、田中、卯城、島田、岩野、沢田、西山、野田、佐々木、大浦、久米、米沢、金田、藤、宮本、宮田、千秋閣、鈴江、阿部、坂本、宮城、谷川、上田、稲本、折村、橋本、柿原、橋本、富永、西、薩摩、板東、吉田、湯浅、七条、増田、小笠原、横山、渋谷、薮原、横山建設、一番町電化、最中、藤田、北野、村上、平野、住友、吉井、播磨、岡山、渡辺、遠藤、井内、佐藤、斉藤、城西病院、藤岡、三木、手川電気、矢野、池田、大西、山崎、宮内、ダック引越しセンター、白川、山本、西浦、川崎、小渡、野口、野鳥の森事務所、釜内、門田、安澤、瀬谷、桑村、樋口、瀬川、宇山、川上、つどい建設、フォトハラダ、東京屋美容院、中島、パソQ、トラスト、北島、村崎、岡田、西條産婦人科、新学社、鎌倉、アスペック、片山、前川、東、篠原、西内、沖野、山尾、中原、宮竹、広岡、内田、パッケージ松浦、谷口、石山、小山、服部、吉村、坂川、讃岐、堂野、豊成、松本、中野、池本、双葉ビル、植田、近藤組、元木、福山、鶴田、広瀬、朝田、井関、結城、松崎、中山、前川、中田金庫店、渡辺、岡島、沼田、藤黒、矢野、岩本、岸、高橋、森、生田、河原、福田、八巻、城福、佐藤、藤田、井上、中川、徳島プリンスホテル、津川、笹沼、近藤、後藤、大久保、梶浦、大和、万玉薬局、桑原、泉、斉中、中西、高尾、今枝、河野、小倉、野水、土肥、黒川、板東、鎌田、森井、尾上、森田、尾上、小池、長谷部、前田、菅井、角宮、乾、龍宝堂林、井川○北島町○結城、川村、チューリップ作業所、新居、河野、セシール美容院○鳴門市○桑内、柳谷、高島、米花、吉岡、鳴門教育大学付属幼稚園、ユキ美容院、リサイクル山田○松茂町○徳田、中野、ATS村崎○石井町○西内、野口、川村、中辻、福井、坂本、野村、横山、堀、川端、上村○小松島市○玉田、大興繊維○藍住町○出見、森岡、薮内、井原、谷崎、播磨、阿部、別所○吉野川市○森本、松下、三河、櫛田

## 不用品を持ち込んで下さった方々

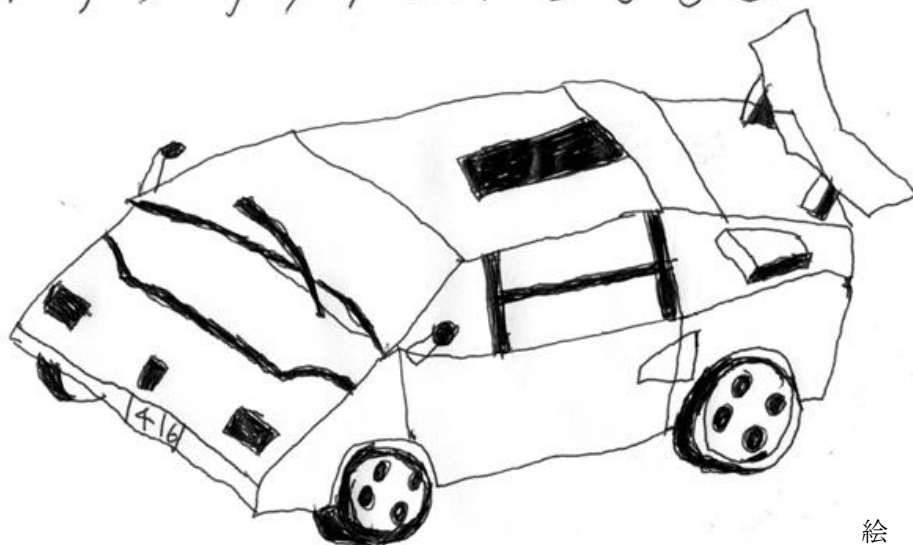
○徳島市○阿部、三木、大北、奥平、岡本、津保、川原、岩瀬、石原、山本、田村、鎌田、西田、津田、矢野、稲江、酒井、原田、戸崎、濱口、美馬、平田、武市、田辺、勝田、松岡、横山、林、橋本、黒岩、スプリアトノ、東、藤岡、吉田、小川、山上酒店、福田、大川、稲本、種田、藤原、津川、新日本婦人の会徳島支部、河野、藤本、岸野、西山、福島、牛島、竹内、小賀、藤川、榊、金丸、玉野、清、富士、平松、川崎、天理教国名大教会、豊岡、板東、新居、吉本、佐々木、佐原、中村、米里、高橋、玉井、為田、細東、庄野、吉岡、旭、増田、森崎、三好、松田、岩見、亀井、米澤、高見、高田、中川、浅敷、藤崎、森、古川、片山、山岡、森田、大下、西、高木、松浦、力安、中田、日下、山下、陽地、岡田、福山、蔵本、長楽、堀、日出運送、島、真鍋、芦住、藤野、賀好、井上、第十、大島、早淵、安芸、金本、石田、小寺、東條、川口、三間、植野、松家、喜多、元木、丸山、小尻、多田、金谷、福家、ねたきりになら連、桑原、後藤、土井、竹定、柏野、芝井、会田、横田、泉、豊田、日本聖公会、聖テモテ教会、鍛谷、



檜本、寺田、天理教養門布教所、武田、奥本、名田、(有)水環境システム、一丸、宮崎、田中、小林、眞澤、中林、浅野、門田、松原、横尾、平尾、楠、谷脇、北井、林、石山、伊世、坂口、佐伯、立花、植野、平山、米澤、住野、杉本、角山、京寛、生原、細井、金沢、野乃瀬、水間、鈴江、長畠、前田、武井、久米川、塩田、尾上、大西、桂、浅川、小池、片岡、黒上、蔭山、畑中、金内、大岩、榎本、(株)アークホーム、奥田、河原、平本、只川、内海、竹林、伊丹、長尾、山口、山橋、富田、沖川、矢部、福井、岩野、安岡、杉井、篠原、近藤、池本、岸本、新田、高木、仁木、竹原、中川、森、原、北條、平澤、久米、松浦、工藤、香川、原、河野、笠井、知野、陽地、上原、西山、長浜、藤井、鎌田、近清、宮崎、宮本、柏原、中井、森田、露口、久米川、横山、新居、吉田、増谷、岩佐、福田、岡田、岩崎、久米、元木、照本、中林○北島町○堀、久米、杉野、塚本、関、岩本、吉楽、網野、中川、石井、久保、北野、伊原、鳥澤、浜村、吉見、高口○石井町○山本、大石、増田、山口、林、藤本、切原、佐々木、白石、片山、日野、松田、秋山、藤重、滝川、阿部、藍畑幼稚園、板東、中村、北野○板野町○森川、山口、谷村、佐野、村田、辺見、藤原○藍住町○片岡、横田、河村、杉村、瀬川、山本、中村、河野、香川、渡辺、西野、土井、鳥取、吉田、三好、木内、森、花谷、小倉、木下、岡田、大西、岡元、藤原、久保、豊田、田岡、岡久、村上○美馬市○齊藤、河野、北岡、上田、小引○上板町○近藤、松岡、橋本、小磯、大杉、東川、佐藤○吉野川市○工藤、大木、片岡、阿部、坂野、渡部、多田、出口、北浦、松田、祖父江、川端、宇山、河野、田村、藤井、松本、村田、竹内、田中○鳴門市○梅本、中、石川、吉田、中津、高松、清水、竹原○松茂町○松下、東、丹羽、櫻井○阿南市○阿部、笠井、谷本、佐野、森○小松島市○ColinSpencer、萩生、大森○阿波市○武岡、平田、福家○木頭村○細川○美波町○岩根○東みよし町○瀬本○香川県○六車○岡山市○大村○京都市○小暮○埼玉県○本田○東京都○河野○広島県○ほっとハウス、のぼら

NPO法人太陽と緑の会の事務局・作業所兼店舗の建物再建後、いかに活動を軌道に乗せていくか、試行錯誤の日々が続いておりますが、変わりないご支援・ご協力を頂戴し、本当にありがたいことと思います。なお入念なチェックを行ってはおりますが、万一、お名前の記入漏れ、誤字・脱字等ございましたら、事務局までお申し付け頂ければ幸いです。

カウンタックLP500S



絵 藤田喜彦さん

## 編集後記～一人のおっちゃんとして～

4年前から始まり毎年恒例となった地元国府中学校3年生の体験実習が、今年も無事終わりました。これまではたいてい2、3名の参加だったのですが、今回は女性8名の参加となり、にぎやかな実習となりました。「やっぱり、建物がきれいになったせいやろか」といった声もちらほら聞こえる中、メンバーの方は皆緊張して落ち着きがありません。

ふだんは、来たり来なかつたりのメンバーのAさんも、この実習の日付はきちんと覚えていて、朝早くから来ています。隣に座って、いろいろ話をしたいのだけど、そのタイミングがつかめないようです。「ここ座ったら？」と丸イスを引っ張り出すと、苦笑いしながら座り、朝ミーティングが始まりました。

自己紹介、今日の予定の確認と注意事項の伝達が終わると、各パートに分かれての作業になります。8人の中学生も、小型トラックに乗って不用品の引き取りに行く仕事、頂いた品物を仕分けする仕事、選別したリユース品の洗浄・磨き・値札付け・陳列、レジの補助などの仕事、古新聞、古雑誌などの古紙をトラックに積み込み、業者さんの所へ搬入する仕事など、メンバー、スタッフ、ボランティアと一緒にやりました。

どこに何を置いたらいいのか、中学生がとまどっていると、メンバーのBさんがさっと気づいて「これはこっちに置くんだよ」と教えている姿がありました。日頃はスタッフに

頼ることが多い彼女も、この日は頼れる姉貴になっていて、自分の仕事に誇りを持てることの素晴らしさを改めて感じました。

Cさんは、中学生の子が重たい荷物を運ぶのに苦労していると、「俺が持つよ」と言って受け取り、「おっちゃんも重いわ～」とつぶやきながら運んでいました。女性スタッフの木村さんがこれを見て、「何よ、私が頼むと、知らん顔しているのに…」とぼやいていました。まあ、そんなものです。

いつもは所かまわずおならをするメンバーのDさんも、この2日間は予想通りピタリと鳴りやみました。「がまんしてた?」「トイレに行っていました」

国府中学校では、国府養護学校が近くにあることもあって、交流もあるようですが、実際にいわゆるハンディを持った人と一緒に働くというのは、彼女たちにとって初めての経験だったと思います。

当会の作業所では同養護学校の卒業生が何人も働いていますが、「障害者」という人ではなく、おっちゃん、おばちゃん、兄ちゃん、姉ちゃんとして、中学生の皆さんの心の片隅に残ってくれたら、と思います。ノーマライゼーションという言葉の定着とは裏腹に、様々なハンディを持った人が身近にいない、という現実はあまり変わっていません。

「なぜ身近にいないの?」

「ハンディって何? 誰が決めるの?」

(文責: 小山)

### 特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリサイクル・リユース活動を、様々なハンディを持ったメンバー達の障害者地域共同作業所(2箇所)とリンクさせて、行っております。地域の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指して、様々な方々(一般市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っております。

### 発行: 特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延 107-1  
TEL・FAX 088-643-1054 (事務局)  
TEL・FAX 088-642-1054

(不用品リユース・障害者地域共同作業所)

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>

E-MAIL [t-midori@jeans.ocn.ne.jp](mailto:t-midori@jeans.ocn.ne.jp)

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎

編集サポート 岡田 郁子

年会費: 正会員 10,000円 準会員 1,000円

郵便振替口座: 01620-8-44703

※この機関誌は再生紙を使用しています。